

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当該事項はありません。

2. 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年会計基準）を採用しています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産については、法人税法に規定する定額法を採用しています。

無形固定資産については、法人税法に規定する定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、当期末要支給額を計上しています。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行います。ただし重要性の乏しい取引に関して通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができます。

(4) 消費税等の会計処理

消費税については、税込処理によっています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	637,395	6	0	637,401
基本積立金預金	58,283	0	50,000	8,283
会館積立金預金	493	0	0	493
什器備品積立金預金	51,414	0	0	51,414
保険積立金預金	3,551	0	0	3,551
70周年記念事業積立預金	400,024	2	0	400,026
小 計	1,151,160	8	50,000	1,101,168
合 計	1,151,160	8	50,000	1,101,168

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	637,401	0	637,401	0
基本積立金預金	8,283	0	8,283	0
会館積立金預金	493	0	493	0
什器備品積立金預金	51,414	0	51,414	0
保険積立金預金	3,551	0	3,551	0
70周年記念事業積立預金	400,026	0	400,026	0
小 計	1,101,168	0	1,101,168	0
合 計	1,101,168	0	1,101,168	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	1,245,853	1,245,850	3
小 計	1,245,853	1,245,850	3
合 計	1,245,853	1,245,850	3

6. 重要な後発事象

当該事項はありません。

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当預金	637,395	6	0	637,401
	基本積立金預金	58,283	0	50,000	8,283
	会館積立金預金	493	0	0	493
	什器備品積立金預金	51,414	0	0	51,414
	保険積立金預金	3,551	0	0	3,551
	70周年記念事業積立預金	400,024	2	0	400,026
	特定資産計	1,151,160	8	50,000	1,101,168
その他固定資産	什器備品	3	0	0	3
	その他固定資産計	3	0	0	3

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,033,030	0	0	0	1,033,030